

ミクロネシア諸島自然体験交流事業に参加して

ガールスカウト鳥取県連盟 シニア

私は7月26日から8月3日まで「平成28年度ミクロネシア諸島自然体験交流事業」に参加し、マーシャル諸島に派遣されました。

私が参加したいと思った理由は、ミクロネシア諸島自然体験交流事業に参加した先輩の発表を聞いて、いつか行ってみたいと思ったからです。また、異国の文化や環境問題について学びたいと思ったからです。

7月26日に行われた出発前研修では、自分の目標を決めました。私の目標は、「異国の文化を認め合う」にしました。7月27日に成田空港から出発しました。初めての海外だったので凄く緊張しました。3時間30分かけてグアムに到着しました。日本との時差は約1時間でした。7月28日にアイランドホッピングをしながら約8時間30分かけて目的のマーシャルの首都マジュロに到着しました。空港では現地の子がお出迎えしてくれました。貝がらで作られた首飾りを貰って、とても嬉しかったです。7月29日に在マーシャル日本国大使館のお話と、JICA 活動紹介をしてもらいました。7月31日から8月31日までカロリン島という無人島に行きました。現地の子とビーチバレーをして遊んだり、海水浴をしました。寝るときは冷房も扇風機もない小屋だったので寝にくくて不便なこともありましたが無人島生活を楽しむことができました。マジュロに戻るとホームステイがありました。英語で話しかけられましたが、意味がわからなかったけどホームステイ先の家族は優しく接してくれてうれしかったです。お別れ会ではマーシャルの人たちが踊ってくれたことに感動して涙がこぼれました。

この10日間で一番驚いたことは、「日本」と「マーシャル」は同じ被爆国だったことです。日本は原爆が投下され、マーシャルでは、水爆実験が行われたそうです。同じ被爆国として、平和への思いが強くなりました。その後、訪問したピースパークには、第二次世界大戦により、亡くなった方々の慰霊碑がありました。その近くの海岸には、とてもたくさんゴミがありました。マーシャルで標高が一番高いマジュロ橋（約5m）より高くゴミが積まれている所もあるそうです。その理由は、日本や他の国が海にゴミを放棄したことにより、マーシャルの海岸に、ゴミが流れ着くそうです。清掃活動で、実際に日本のゴミを見つけて驚きました。海にゴミを捨ててはいけないと、改めて実感しました。

私はミクロネシアに行って多くの事を学び、経験することができました。この経験を今後のガールスカウト活動に生かしていきたいと思います。